



特別賞



橋梁点検実施状況(自視・初診)



現場見学会(座学)



橋梁点検研修会(座学)



橋梁点検実施状況(軽微な補修)



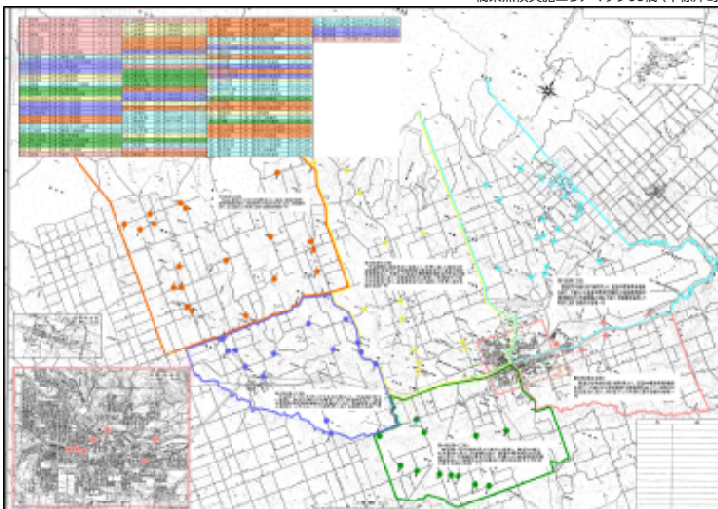
橋梁点検研修会(現地研修)



橋梁点検結果報告(協会長・町長)



現場見学会(橋梁見学)



橋梁点検実施エリアマップ95橋(中標津町)

道路分野

中標津町「明日に架ける橋」プロジェクトで地域の橋を総点検!

取組概要

中標津建設業協会は、中標津町「明日に架ける橋」プロジェクトの一環として町と橋梁点検協定を締結。町が管理する全95橋を平成26年から毎年ボランティアで点検し、8月4日(橋の日)に町長へ報告することにより官民協働での橋梁の適切なメンテナンスに繋げている。

また、過去4回専門家を招いて研修会を開催し橋梁点検に対する知識と技能の研鑽に努めるとともに、現場見学会等を開催し次世代を担う人材育成やインフラメンテナンスの理念の普及を目指している。

受賞理由

ボランティアによる点検のため、講習会等による会員企業の技術力向上や人材育成、連携強化などを図っている他、自治体における技術者や財政力の不足などにも対応しており、次世代を担う人材育成への寄与もうかがえ、また、年1回点検するため、軽微な段階で修繕着手が可能となる点などが評価された。

取組のポイント

平成26年に自治体に義務化された5年に1度のインフラの点検とは別に、それを補完する形で行うこの点検は、毎年1度という短いスパンで実施している。そのため橋梁やその前後の道路の不具合や橋梁護岸の異常が軽微なうちに発見することが可能である。

なお、会員43社約200名の各種施工管理技士が登録点検者となり、必要な場合にはその場で緊急補修等の対応を行えることから安全・安心な機能の維持や橋梁の長寿命化により、地域住民の安全性向上を担っている。

また、町内を6ブロックに分け、1から6工区の担当企業グループを固定(このほか全工区の舗装を担当する舗装企業グループがある)しており、災害時の協力体制に関する実施協定とも連動した工区分けになっていることから、毎年の橋梁点検実施の経験が緊急時の速やかな連携による対応を可能としている。このことは地震や台風等の自然災害が超巨大化・頻発化している昨今の中で更に重要性が増していると感じている。

受賞者について



受賞者

中標津建設業協会 会長 三宅 正浩

コメント

インフラは社会全体で守るものとの理念の下、地元自治体との協働により平成26年から開始したこの取組が、このような栄誉を賜ることとなり心から喜びを感じております。今後も地域社会の一員としての役割を果たすべく継続して参ります。また、このような取組が全国に広がることを願っております。

団体概要

当協会は、中標津町内の社会資本整備を担う企業有志で構成し、技術の研鑽や連携を目的とし、環境保全や社会資本の維持・災害時の協力協定締結など積極的に地域貢献活動を行っております。また、現場見学会を開催し、建設業の魅力や働きがいアピールするなど地域における建設業の重要性を発信しております。なお、来年には設立50周年を迎えます。

問い合わせ先

中標津建設業協会
北海道標津郡中標津町東14条北1丁目
0153-72-2996
nakashibetsu-kensetu@friend.ocn.ne.jp
事務局長 川野 弘善
担当 瀧場 慎一(小針土建株式会社)